

第5学年国語科学習指導案

日 時 令和3年10月1日(金) 3校時
 児童 男子4名 計4名
 指導者 山口 有希子

1 単元名 テクノロジーとの関わりについて考えをまとめよう

2 教材名 「弱いロボット」だからできること (東京書籍 5年)

3 目指す資質・能力

〔知識及び技能〕

- ・文の中での語句の係り方や語順, 文と文との接続の関係, 話や文章の構成や展開, 話や文章の種類とその特徴について理解することができる。 (1)カ

〔思考力, 判断力, 表現力等〕

- ・事実と感想, 意見などとの関係を叙述を基に押さえ, 文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。 C(1)ア構造と内容の把握
 - ・文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめることができる。 C(1)オ考えの形成
- 〔学びに向かう力, 人間性等〕
- ・言葉がもつよさを認識するとともに, 国語を大切にしていや考えを伝え合おうとする。

4 単元について

(1) 児童について

児童は, 「動物たちが教えてくれる海の中のくらし」において, 要旨を捉えるには書き手が文章の中で取り上げている事実と感想, 意見などとの関係に着目することが大切であることを学んだ。また, 説明文は「序論」「本論」「結論」の三部構成になっており筆者の伝えたいことは, 結論の部分に書かれていることも学習した。しかし, 筆者の伝えたいことを理解してもそれに対する自分の考えをもつことは苦手とする児童が多い。

(2) 教材について

主教材である『「弱いロボット」だからできること』は, テクノロジーが加速度的な進歩を遂げる中, その背景にある「便利で高い性能を持つものほどよいものだ」という一般的な考え方に警鐘を鳴らすものである。これに対し, 資料「テクノロジーが見せる未来」は, 人間の力を超えたテクノロジーの姿や, それが見せる豊かな未来を主張している。それぞれの主張に異なる視点がある2つの文章であり, 多面的に読む力を身に付けるのに適した教材である。

(3) 指導について

本単元では, テクノロジーの進化について考えの違う『「弱いロボット」だからできること』と資料「テクノロジーが見せる未来」を読み比べ, 自分の考えを書きまとめる言語活動を位置付けた。同じテーマで筆者の考え方が異なる文章を読み比べることは, 多面的な読み方について学び, さらに読んで考えたことを書きまとめるという資質・能力に迫ることができると考えた。

指導について次の2点に留意する。1つ目は, 要旨を本論の内容と関連付けて捉えることである。要旨に説得力をもたせるための事例を既習内容を活用してつかめるようにしたい。2つ目は, 友達との交流を大切にすることである。本単元では, 読み取ったことを基に自分の考えを交流する。自分の考えを整理したり広げたりするため交流の際には, お互いの意見の相違点に着目して聞き可視化できるようにする。そうすることで, 考えの変容や友達の考えを受け入れ, 自分の考えを広げられるようにしたい。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①文の中での語句の関わり方や語順, 文と文との接続の関係, 話や文章の構成や展開, 話や文章の種類とその特徴について理解している。 ((1)カ)	①「読むこと」において, 事実と感想, 意見などとの関係を叙述を基に押さえ, 文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 (C(1)ア) ②「読むこと」において, 文章を読んで理解したことに基づいて, 自分の考えをまとめている。 (C(1)オ)	①進んで自分の考えをまとめ, 学習の見通しをもって, 分かったことや考えたことを文章にまとめたり友達に伝えたりしようとしている。

第6学年国語科学習指導案

日 時 令和3年10月1日(金) 3校時
 児 童 男子3名 女子2名 計5名
 指導者 山口 有希子

1 単元名 自分の生き方について考えよう

2 教材名 プロフェッショナルたち(東京書籍 6年)

3 目指す資質・能力

〔知識及び技能〕

- ・思考に関わる語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。 (1)オ

〔思考力、判断力、表現力等〕

- ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。 C(1)ア構造と内容の把握
 - ・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げることができる。 C(1)カ共有
- 「学びに向かう力、人間性等」
- ・言葉がもつよさを認識するとともに、国語を大切に思いや考えを伝え合おうとする。

4 単元について

(1) 児童について

児童は「イースター島にはなぜ森林がないのか」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を把握しながら要旨を捉える学習をしてきている。さらに、同単元では、論の進め方についても学習した。しかし、文章構成全体から論の進め方について触れることより叙述の中の一部について感想をもつ児童が多く、文章全体の大まかな内容を捉えることが苦手な児童が多い。

(2) 教材について

本教材は、3人のプロフェッショナルが登場し、それぞれの人物の実体験、思いや考えを語り手が述べている部分と登場人物自身が述べる部分とで構成されている。中学校へ進学する児童にとって、自分の将来と関わらせて考えられるテーマであり、要旨をおさえ自分の生き方について、まとめるのに適した教材である。

(3) 指導について

本単元では、3人のプロフェッショナルの仕事に対する思いを知り、さらに、地域の方に直接話を聞き、自分の将来の夢についての考えを広げ文章にまとめるという言語活動を位置づけた。教材文を読んだり、地域の方に話を聞いたりする活動を通して、児童自身が考えるプロフェッショナルとはどんな人かを友達と交流し合うことで、ねらいに迫ることができる考えた。

指導については、次の2点に留意する。1つ目は、「プロフェッショナルたち」を読み、3人に共通する思いを捉えさせることである。共通する思いを捉えることで、自分の生き方と照らし合わせることができる考えたからである。2つ目は、友達との交流を通して自分にとってのプロフェッショナルとは何かを考えさせることである。自分で考えた後に、友達と交流することで考えが整理されたり、共感してもらうことで自信につながったりすると考える。そのため、自分で考える時間をしっかりとったうえで、友達同士の交流にのぞむことができるようにしたい。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①思考に関わる語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。 ((1)オ)	①「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 (C(1)ア) ②「読むこと」において、文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。 (C(1)カ)	①進んで自分の考えを広げ、学習の見通しをもって、分かったことや考えたことを文章にまとめたり友達に伝えたりしようとしている。

6 単元計画（5年生…8時間，6年生…9時間）

		5年生	6年生
次	時	○主な学習活動 ・指導の手立て ●評価規準 []は観点，下線は評価するもの	
1	1	○教師のモデルを見て単元のゴールを知り，学習材を読み，学習計画を立てる。 ・5年生と6年生の学習の目的を明確にして，学習の振り返りから単元計画を立てられるようにする。 ・5年生は，テクノロジーの進歩についてどのような考えをもっているかまとめられるようにする。	
	2	・6年生は，3人の職業・仕事の内容・プロフェッショナルとしてどう評価されているかなど大まかな内容をつかむことができるようにする。	
2	3	○教材文を読み，要旨を考える。 ・要旨を捉えるためには，文章構成図を作り，事実と意見に着目しながら読むことを想起してから，活動に入ることができるようにする。 ●要旨を書いているかの確認。 [思考・判断・表現①] <u>ノート</u>	○3人のプロフェッショナルたちの生き方について整理する。 ・3人のプロフェッショナルたちの，職業について理由，失敗や困難，そのときどのように考え，どう行動したかを読み，まとめられるようにする。 ●3人のプロフェッショナルたちの生き方について整理しているかの確認。 [思考・判断・表現①] <u>シート</u>
	4	○教材文の要旨を踏まえ，自分の考えをまとめる。 ・筆者は，「ごみ箱ロボット」の例と，伝えたいことの関連付けに着目できるようにする。 ・納得した部分，反対の意見をもった部分を考えながらまとめられるようにする。 ●本論と要旨に触れながら，考えを書いているかの確認。[思考・判断・表現②] <u>交流，ノート</u>	
	5 本時	○資料「テクノロジーが見せる未来」を読み，要旨を捉え，自分の考えをもつ。 ・教材文の学習の方法を使い，要旨を捉え自分の考えをまとめられるようにする。 ●要旨と自分の考えをまとめているかの確認。 [思考・判断・表現②] <u>交流，ノート</u>	○3人の「…が考えるプロフェッショナルとは」を読み比べ，感想をもつ。 ・「…が考えるプロフェッショナルとは」と，3人の生き方から共通点を考えられるようにする。 ●3人のプロフェッショナルたちの共通点を見付け感想を持っているかの確認。 [思考・判断・表現②] <u>交流，ノート</u>
6	○2つの文章を読み比べ，構成メモを作る。 ・2つの文章の，具体例や要旨から相違点を考えられるようにする。 ・最初にしたテクノロジーの進歩についての考え方の変化や，自分の経験や知識と比べて思ったことを構成メモに記録できるようにする。 ●構成メモが書けているかの確認。 [思考・判断・表現②] <u>構成メモ</u>	○角浜の方を講師に，身近なプロフェッショナルの話聞く。 ・2人のプロフェッショナルたちの生き方や，考えを，自分の考えと比較して聞くように促す。 ●身近なプロフェッショナルの話聞き，自分の考えの変容についてまとめているかの確認。 [思考・判断・表現②] <u>観察，ノート</u>	
3	7	○構成メモを基に，意見文を書く。 ●構成メモを基に意見文を書いているかの確認。 [知識・技能] <u>意見文</u>	○自分が考えるプロフェッショナルとは何かを考え，将来についての作文の構成メモを書く。 ・学習したことを生かし，「自分が考えるプロフェッショナルとは」につなげる。 ・構成を意識して構成メモを書けるようにする。 ●構成メモを基に意見文を書いているかの確認。 [知識・技能] <u>意見文</u>
	8 (6年)		○構成メモを基に，作文を書く。 ●構成メモを基に作文を書いているかの確認。 [知識・技能] <u>作文</u>
	8 (5年) 9 (6年)	○書いた意見文を読み合い，感想を伝え合う。 ○振り返りをする。 ・考えを広げるために友達の意見文を読み，違いを見付け，良さを伝え合えるようにする。 ・考えの変容についての振り返り，多面的な読みから，考えの広がり気付けるようにする。 ●考えの変容に触れ振り返りが書けたかの確認。 [主体的に学習に取り組む態度] <u>観察，ノート</u>	○書いた作文を読み合い，感想を伝え合う。 ○振り返りをする。 ・考えを広げるために友達の作文を読み，友達の夢に共感し，感想を伝え合えるようにする。 ・考えの変容についての振り返りから，考えの広がり気付けるようにする。 ●考えの変容に触れ振り返りが書けたかの確認。 [主体的に学習に取り組む態度] <u>観察，ノート</u>

7 本時の指導 (5/8)

(1) 本時の目標

5年生…資料「テクノロジーが見せる未来」を読み、要旨を基に、自分の考えをもつことができる。

6年生…3人の「…が考えるプロフェッショナルとは」を読み比べ、共通点について考え感想をもつことができる。

(2) 協働的な学びについて

5年生…要旨を1人で書いた後、4人で読み比べより良い要旨を書く。その後、筆者の考えに賛成・反対・中立の立場に立ち意見を言う。意見を言った後、理由を言ったり、お互いに質問をし合ったりすることで、自分の考えが整理され考えの幅が広がることに気付けるようにしたい。

6年生…自分の考えるプロフェッショナルについて交流する。友達が、誰のどんな部分に関心があったのかを考えながら聞くことで、友達の考えを共有したい。また、自分も考えた理由を話すことで、**考えの整理**や**根拠の確信**につなげたい。

(3) 本時の展開

5年生		6年生		
指導上の留意点 ●評価規準	学習活動	段階	学習活動	指導上の留意点 ●評価規準
<ul style="list-style-type: none"> 共通導入を行い、どんな学習をしているのか確認し合う。 	1 本時の確認 学習課題を確認する。 資料「テクノロジーが見せる未来」を読み、要旨を捉え、自分の考えをもつ。	つかむ 5分	つかむ 5分	<ul style="list-style-type: none"> 共通導入を行い、どんな学習をしているのか確認し合う。
	<ul style="list-style-type: none"> 『「弱いロボット」だからできること』の学習を確認する。 要旨が前時とは違うことを確認する。 ③では、質問あったり感想を言い合ったりする時間を十分にとりたい。 1次で紹介した教師のモデルも参考例とする。 ●要旨と自分の考えをまとめていくかの確認。 [思考・判断・表現②] 交流, ノート 	2 課題解決 (1) 資料「テクノロジーが見せる未来」についての考えをまとめる手順を確認する。 (2) 考えをまとめる。 ①1人で要旨をまとめる。 ②4人で確認して要旨を完成させる。 ③自分の考えを話す。(賛成・反対・中立) ④自分の考えを書く。 (3) 考えを交流し合う。 4人で読み合ったのち、4人の相違点について確認し、いいと思う考えを伝え合う。	深める 18分	
	3 まとめ ・友達との交流を通して、いいと思ったことや考えが変わったことを書く。 ・自分の学び方についての振り返りを書く。	まとめる 17分	まとめる 17分	

(4) 本時の評価規準

		おおむね満足 (B)	努力を要する児童 (C) への手立て
読むこと	5年生	・資料「テクノロジーが見せる未来」の要旨を捉え、賛成か反対かを理由をそえて書いている。	・友達との交流で要旨を理解し、賛成か反対かを決めさせ理由を前時の資料との比較から考えるよう助言する。
	6年生	・3人のプロフェッショナルの考えを知り、感想を書いている。	・3人のプロフェッショナルの考えを知り、誰の考えに一番共感できたかを聞き、その人の特にいいところ思ったところを書くよう助言する。